

やまのうち通信



第 186 号

令和 4 年 10 月 20 日

山内自治振興センター

庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑ フェイスブック
QR コード



YAMANOUCHIJICHISHINKOUHU

↑ インスタグラム
QR コード

令和 4 年度敬老会は記念品でお祝いしました！！



↑ 6 年生が描いたイラストです

新型コロナウイルス感染がなかなか落ち着かない中、残念ながら今年の敬老会は 3 年連続で中止となりました。

敬老対象者へ記念品（商品券と青空事業所の焼き菓子セット）をお渡しし、お祝いをしました。

また、喜寿・米寿・金婚・三世同居家族の対象者へも記念品を贈ってお祝いをしました。



おめでとうございます！

今年も 85 歳以上の方を対象に、山内小学校児童の皆さんがお祝いのカードを手書きしてくれました。

今年の敬老対象者は、461 名（男 169 名・女 292 名）で喜寿 26 名、米寿 30 名、金婚 10 組、三世同居家族 1 家族でした。みなさんおめでとうございます！

投稿写真 高茂いきいきサロンを開催しました！



高茂地域内の、若い人にも声を掛けて、ブックカバー作りに挑戦する、いきいきサロンを開催しました！
1 人ですが、男性も参加され、楽しい一時を過ごしました！



写真は、高茂町にお住いの三橋豊さんからいただきました。

11 月 23 日（水）狼煙リレーを開催します！



山内（甲山城跡）の狼煙点火は、午前 11 時 42 分頃です

今年も市内をのろしでつなぐ「狼煙リレー」を行います。新型コロナウイルス感染防止のため、甲山城跡から狼煙を上げる人数は最低限に制限して行います。

甲山城周辺からの写真撮影は自由ですので、写真に興味のある方は写真撮影をしていただければと思います。撮影した写真は、やまのうち通信への投稿を募集しています！



↑ 昨年度の投稿写真です

先日、部屋の掃除をしている時に、本棚の奥の古い本が目に入り、久しぶりに手に取りました。この本（自費出版）は、20年以上前に著者ご本人からいただいたもので、著者の在宅介護の体験や思いを、まとめられた貴重な歌集です。

- ・病み妻の寝息うかがい町へ出て心せわしく用足し帰る
- ・食材揃え部屋暖めて施設より今日帰り来る病み妻を待つ
- ・施設より帰り来し病妻あたりには目もくれず父ちゃんと呼ぶがいとしき

あらためて読ませていただくと、介護の苦労話以上に、奥様への感謝や家族への思いが、ていねいに綴られていることに心動かされます。

在宅で介護をされている方から、お聞きする「介護」のお話には、大変さだけでなく、家族だから感じることでできる「つらさ」や「悲しさ」、「喜び」「豊かさ」が含まれているように思います。これは、介護をとおして見えてくる「家族の意味、本質」と言える部分なのかもしれません。

紙面は限られますが、介護者の声、お気持ちを「百人一首」として、まとめた本を紹介させていただきます。（こちらは入手可能です）「新介護百人一首 2021（NHK）」です。その中から介護者、家族の声を、少しだけ紹介させていただきます。（右）

感じ方はそれぞれと思いますが、介護をとおして、大切な色々なものが見えてくるような気がします。介護の中にある尊さや豊かさを共感できればと思います。



新・介護百人一首」に興味のある方は、送料 180 円で入手できます。

インターネット（<https://www.nhk-sc.or.jp/kaigo/>）や電話でご確認ください。（右の QR コードを参照）
NHKサービスセンター「新・介護百人一首」係
電話 03-5797-6709
（土・日・祝日を除く 午前 10 時～午後 6 時）



「電気消せ」トイレのドアに夫の文字逝きし後まで我が家のあるじ
亡くなりし子に何回も電話する母の記憶に残る番号
あの言葉寝たきりになつても口ずさむ「店番せんば」
祖父は最後まで商売人
庭いっぱいの洗濯物が消え去りぬ冬に耐えきし父は逝きたり

庄原市老人介護支援センター相扶園 荒木和美



投稿写真を募集しています！

やまのうち通信では、地域のみなさまからの投稿写真を募集しています。投稿をご希望の方は、写真データを山内自治振興区へお持ちいただくか、「yamanouchi.jichi@gmail.com」へお送りください。よろしくお願いいたします。

10 月市内一斉グリーンキャンペーンに参加しました！



↑平田自治会のみなさん

きれいにしてくださり、
ありがとうございました。



↑表水越自治会のみなさん

おたがいさまネット

「市民タクシー制度について」

地域の高齢化が進行する中で、対策が急がれる課題の一つに生活交通の問題があります。自家用車に頼れない方にとって市街地への通院や買物はそれ自体が大きな負担になっています。当山内地区には国道 183 号を通るバス路線や芸備線もありますが、バス停や山内駅まで遠く離れた地域もあり生活交通として十分とは云えず、庄原市では地域生活バス（高茂線）を運行して遠隔地住民の利用を図ってきました。更により利便性の高い移動手段として当地区では令和元年度から市民タクシー制度を導入して現在に到っています。

当地区での市民タクシーの利用状況は、昨年度の年間運行回数 183 回、乗車人数 233 人、今年度上半期（4～9 月）の運行回数 80 回、乗車人数 94 人となっており、ほぼ横ばい状態で推移しています。市民タクシー制度は自治振興区が運営主体となって全区民を利用対象としています。

門先まで送迎してもらえる反面、前日予約が必要で利用日・利用時間も決まっているなど制約もあります。また片道 700 円、往復 1,400 円の運賃も通常タクシー料金に比較すると安価ですが、日々の生活交通として利用する上では割高感もあります。

当面はこの制度に頼るとしても、今後免許返納する高齢者が増えることも考えられ、路線バスや地域生活バスより小回りが利いて、市民タクシーより安く乗れる生活交通の実現は継続して取り組むべき地域課題となっています。

庄原市では現在、昨年度策定した地域公共交通計画に基づき、地域の実情や特性に応じた取り組みを進めるため公共交通の「地域別実施計画」の策定を進めているそうです。その中身はまだ示されていませんが、一昨年には当地区でも AI を活用した効率的な公共交通の実証実験が行なわれたこともありました。高齢になって安心して暮らせる地域であるためにも、便利で負担の少ない公共交通システムの実現が望まれています。

地域マネージャー 三上智道



おくりもの

◆香典返し

9/13～10/12

木戸町 滝口真敏様（故 絹枝様）
殿垣内町 内藤江美様（故 正春様）



ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

11月予定

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる場合があります。

- 8日 ふれあい給食
- 18日 健康寿命向上セミナー 10時～12時
栄養改善教室「缶詰め活用術」
- 20日 自治会長会
- 22日 ふれあい給食
- 23日 狼煙リレー（甲山城）



投稿写真 猪の災難



県道の側溝に猪がはまって動けなくなっているところを発見しました。写真は、水越町にお住いの金子久則さんからいただきました。

10月アダプト活動報告

国兼川の草刈り作業を行いました。



日向自治会 大歳・岡本班のみなさんです

定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

ようこそ山内へ

岡山県から お友だちのご縁で山内の平和町に引っ越して来られた黒崎さんご一家を紹介します。皆さんで床板をはがして天井・屋根などもリホームされました。内装現在進行中！！楽しんで直しておられます(^^) 末長く末長く宜しくお願いいたします♪



はじめまして！！岡山県から引っ越してきました黒崎です
 😊 庄原市には友達が多く、岡山から何度か遊びにくるうちに庄原の魅力に惹かれ移住を決意しました。
 家を山内のごおし隊の方に探してもらい自分たちでリフォームしています。リフォームするにあたって、地域の方々に色々アドバイスをもらったり材料をいただいたりしてとても感謝しています🙏わからないこともたくさんありますが、これからもどうぞ宜しくお願い致します！

リノベーション
 されている合間に
 ちょこっと出動
 てごおし隊！！



イノシシの大好きな隠れ家草むら一掃大作戦！！

第3回 古民家体験活動



看板づくり



スライム作り
 団子作り
 汁作り
 マリョウ



チェーンソー講習会



プロジェクターを使って 座学



安全装具の脱着・エンジンのかけ方・安全確認など



いよいよ、丸太の玉切り



名称・各ポイントのメンテナンスについて 学ぶ

ひろしま森づくり安全技術・技能推進協議会さんにおいて頂き、様々な安全に対応するお話、チェーンソーの名称・仕組み・刃の目立て・メンテナンス・装備などの座学、丸太の玉切りなど大変丁寧に教えて頂きました。参加者のお一人、会社の社長さんは、「社員に任せっぱなしでしたが、一から習うと社員の安全を守る為にも本当に大切な一日となりました。」と。皆さん異口同音大満足で帰って行かれました。

「何十年前も前、苗木を背負い山を登り植えられたヒノキです。今は間伐されると放置されますが、こうやって活かされる事がとても嬉しいです。」と、手伝いに来てくださった移住されたばかりのフォレストワーカーの辻さんが子どもたちに伝えてくださいました。素敵な一日となりました。